

## 「子育て」「貧困」「高校統廃合」 子どもを守るとりくみ広がる

### 西成区で 子育て集会

秋の子育て集会（西成子どもと教育を守る会主催）が開催されました。講師は土佐いく子さん。「親として大切にしたいこと」と題しての講演に、子育て世代のお母さんたちを中心に、地域の方々や教職員、ちびっこたちを含む約60名の参加がありました。土佐さん自身の子育てや教師生活の中での経験、また、子どもや学生の詩、作文を通して、「共感すること、豊かな人間付き合いの営みの大切さが、今こそ大事」と語りました。



西成子育て集会  
11月24日



貧困シンポジウム  
11月9日24日

### 子どもの貧困 シンポジウム

「貧困の連鎖を断ち切り、子どもたちに希望と未来を」と、子どもの貧困問題大阪ネットワークの結成総会が9月24日開かれました。結成総会に先立ち開かれたシンポジウムで、大阪府歯科保健医療協会の戸井副理事長は、学校歯科検診「要受診」で、未受診が小学校50%、



高校統廃合反対集会  
11月9日24日

中学校69%、高校87%に上り、「口腔内に困難を抱える子の家庭は経済的困難だけでなく、文化的・時間的貧困など様々な困難が垣間見れる」と指摘。

枚方交野生活と健康を守る会の森田さんは、「いわれのな生活保護バッシングで、生活保護利用者が『家を出て働きながら夜学に行く』と言った。心を傷つけている。生存権保障で欠かせないのが生活保護制度」と訴えました。

「こしよどい無料塾」を主宰する伊藤さん（市退教）は月2回、月1回の2教室に50人の子どもたちが学んでいること、子どもが「無料塾が楽しい」と親に話すことで口コミで広がっていると報告しました。大阪市教の宮城委員長は就学援助認定率が09年・35%から14年・28%となっていることを指摘し、自治体としての努力を切り捨ててきた維新市政の下で、認定率が低下し続けていると批判しました。

### 高校つづし 反対で集会

府立高校統廃合（大正、泉尾、西淀川、北淀）反対集会が9月24日開かれ保護者20人以上を含む68人が参加しました。「3年連続志願



民営化反対決起集会  
11月10日

## 地下鉄民営管化にメリットなし 高潮対策、ホームドア設置を

地下鉄・市バスの一体運営！市営交通の発展をめざす決起集会が10月1日開かれ、大阪市内19区から70人が参加しました。地下鉄・市バス「民営化」論議が大阪府会でも山場になっている中で、「大阪市営交通の発展を求める陳情書名」を5万筆集めること（9月27日までに2万5584筆提出）、「市

私学教組は「維新府政は、公教育を競争原理と市場原理で縮小解体し、不信と対立を生み出した。高校生の学ぶ権利を公立、私学連携して守っていきたい」と発言。元高校教員からは「高校は地域の文化発信の拠点。大正にはエイサークラブがあり沖繩の文化がある。津波の避難所にもなっている。大事な市民の財産。統廃合は許さない」という発言がありました。

### たんぽぽだより 10月

全教沖繩ツアー  
青年部ではこれまで2回学習会をしました。第1回は「沖繩問題といえは……」では米兵の犯罪、騒音問題、サンゴ礁の破壊など関心のあることを出し合いました。第2回「米軍基地はなぜあるのか？」では、全体の75%の米軍基地がなぜあるのかなど、歴史と現状について学習をしました。「沖繩の問題は日本の問題。本土にいては、その意識的に知る事が大切」とツアー参加の意義を確認しました。大阪市教からは現在3名の青年が参加する予定です。10月7日には第3回「沖繩の問題って何だ？」を予定しています。参加者を増やして、多くの青年にリアルな沖繩の現状を肌で感じてほしいです。

### 民営化費用 1562億円

日本共産党の山中智子市議員が市会報告を行いました。地下鉄は昨年度370億円の赤字、2018年度末時点で交通事業基金・現金1562億円あるが、民営化の移行処理に必要な資金が退職金1040億円を含む1492億円で、運

## 市対連 交渉 給食費公費化できない 市統一テストやめよ

市対連は「2017年度大阪市予算に紙「市バスビル」を16万部発行し、1366人からハガキが寄せられたことを報告。市バスは区役所などの公的施設や病院へ行く、買い物など、市民の足として欠かせないこと、1時間に1本になり極めて不便になっていることが改めて明らかになりました。障

幼稚園民営化の「今後の進め方の方針」をいつ示すのかが、「現在決まっていない」。生野西部地域学校再編整備計画で、「8月末時点で基本合意を得られなかったところはない」。大阪統一テストで上位7%が「5」は相対評価ではないのかの追及に、「生徒の適切な評価を府教委と連携して考えていきたい」としか答えられませんでした。